



✧地域とともにある学校づくりをめざして✧

尼崎市コミュニティ・スクール通信

HAPPY HAPPY

第4号

対談

下坂部小学校長 × CSディレクター

コミュニティ・スクール

杉本校長

CSディレクター

下坂部小学校でコミュニティ・スクールがスタート！

地域とともにある学校づくりを目指し、尼崎市内の5校でコミュニティ・スクールがスタートしています。7月にスタートした下坂部小学校の杉本校長先生に増田CSディレクターがお話をお聞きしました。



下坂部小学校で行われた「近松デー」を見学しました。子どもたちが近松郷土学習で学んだことをクイズや踊りなど様々な形で発表していて、とても素敵な行事でした。



「近松デー」の様子
素敵な舞と演奏を披露してくれました！

ありがとうございます。子どもたちの頑張りと支えてくださる地域のみなさんのおかげです。今年は、特にコロナウイルス対策で練習も大勢集まることを避けるため、教職員が地域のみなさんから教わり、それを子どもたちに伝えるといった手法をとりました。



なるほど！これまでから地域のみなさんの支えがあって、子どもたちも先生も頑張ってくれたんですね。コミュニティ・スクール(以下CS)のきっかけも「近松」が関係していますか？

そのとおりです！本校は、今年で創立143年、近松門左衛門ゆかりの地にある学校として近松郷土学習に力を入れてこられたのも地域のみなさんのおかげです。昨年は、これまでの活動に対し、博報賞、文部科学大臣賞をいただきました。この受賞や、来たる創立150周年を地域のみなさんと一緒に喜び、祝いたいと思ったのがきっかけです。



7月にCSをスタートされましたが、その後はいかがですか？

10月には、CSの運営協議会の委員のみなさんに学校にお越しいただいて、実際に「教室の子どもたちの様子」をご覧いただき、11月には「教職員との顔合わせ」と「意見交流会」を行いました。学校と地域との顔の見える関係づくりを進めていきたいと思っています。



これからの下坂部小学校のCSがどのように進むか楽しみです！地域全体で子どもの成長を支え、学校や地域の行事や歴史などを地域全体で楽しみ、喜び合える関係が築かれれば良いですね。



下坂部小学校で近松デーを開催！

浄瑠璃・和文化クラブが
壽式三番叟の舞いを披露してくれました！



壽式三番叟を披露



下坂部音頭を全員で！



近松クイズを出題

毎年12月6日の創立記念日を祝うとともに近松郷土学習で学んだことを披露する「近松デー」が、12月4日(金)に開催されました。

下坂部小学校の近くに近松門左衛門ゆかりの広濟寺があることから、浄瑠璃を鑑賞したり地域の伝統文化に親しんだりすることを目的に約4半世紀受け継がれている学校行事です。また、高学年の子どもたちが地域の方から踊りを教わり、教わったことを低学年の子に教えてあげるといった伝統もあります。

浄瑠璃・和文化クラブの子どもたちが「壽式三番叟(ことぶきしきさんばそう)(注)」を披露した後、体育館に集まった子どもたち全員で「下坂部音頭」を踊り、6年生は近松郷土学習で学んだことを寸劇やクイズで発表しました。「近松クイズ」ではたくさん子どもたちが一生懸命手を挙げ、大盛り上がりでした！

(注) 壽式三番叟とは、浄瑠璃の舞いの一つで、三味線や唄を唄いながら五穀豊穡、子孫繁栄などの願いを込めて踊られます。



子どもたちの発表のあとは、「近松さんが歩いたみち」と題して、学校運営協議会副会長の川本ミハルさんにお話をいただきました。

近松が通ったとされる神崎の渡しから広濟寺までの道のりをスクリーンに映して紹介されました。



川本 ミハルさん



川本さん

杉本校長

下坂部小学校学校運営協議会副会長、NPO法人男女共同参画ネット尼崎理事長、尼崎市つどいの広場あみんくステーション代表を務める。また、平成元年～25年まで「近松応援団」で活動するなど、多方面で活躍中。



この様子がケーブルテレビベイコム12chで放送されます！ぜひご覧ください！

2021年1月1日～10日 毎日 午後7時～

ケーブルテレビ
ベイコム12ch

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは？

- 学校運営協議会を設置している学校のことです。
- 学校運営協議会は、地域・保護者・学校が学校運営の基本方針や子ども達に必要な支援等について「話し合い、考える場」です。
- 地域・保護者・学校が目標を共有し、子どもたちの教育活動の充実をめざして「地域とともにある学校づくり」を進めます。

令和2年12月21日発行

発行：尼崎市教育委員会 社会教育課 地域学校連携推進担当 TEL 06-4950-0405 FAX 06-4950-5658